

Minato Report 2018

港区議会議員 清家あい 区政レポート



ごあいさつ

いつもあたたかいご支援をありがとうございます。
2015年4月の港区議会議員選挙では、史上初の3000票を超える多大なご支持をいただき、トップ当選を果たさせていただきました。
今期は、9人の超党派の議員でつくる港区議会第2会派「みなと政策会議」の幹事長として、区民目線の思い切った改革を進めていくために、日々奮闘しています。
また、子育て中のママ議員として、保育園の待機児童問題をはじめ、日本の未来を担う子どもたちの環境をよりよいものにしていくために尽力しています。
生まれ育った港区、大切な人たちの住むこの地域のために、いただいたご期待にしっかり応え、これからも全力で頑張ってまいります。

社会全体で考えてほしい“待機児童問題”— 著書「保育園浪人」を出版！



深刻な人口減少時代を迎え、女性が働きながら、出産・子育てができる社会を構築することが急務なのに、未だに解決できない「保育園の待機児童問題」。
何が原因で、なぜ解決できないのか。最前線で闘う港区のママ議員として、何百人という母親たちの悩みを聞いてきた実体験をもとに、解説、提言した本です。

新聞、雑誌など多くのメディアに掲載されました！



東京新聞 11月29日付朝刊、
週刊女性 2月27日号、
都政新報 1月9日付

PROFILE

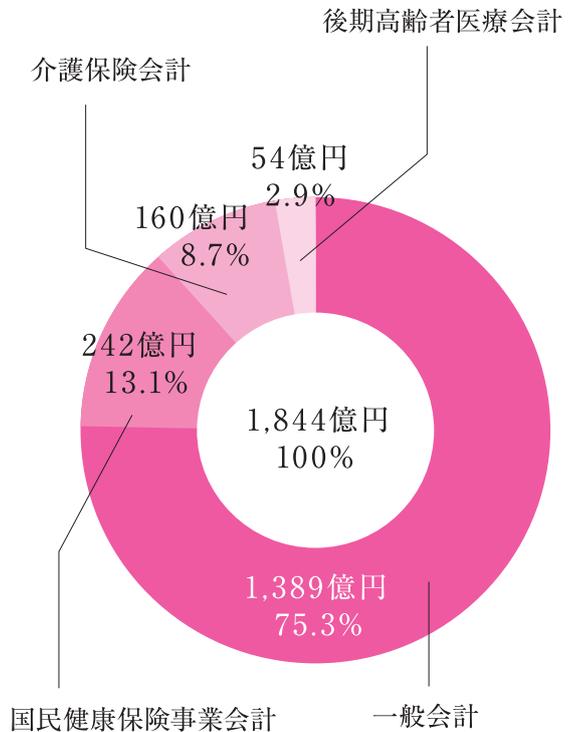
- ・港区東麻布生まれ、43歳
- ・旧飯倉幼稚園、飯倉小学校卒業
- ・青山学院中等部入学、高校3年時に港区の「ロータリークラブ」から交換留学生として、オーストラリアの公立高校に1年留学
- ・青山学院大学国際政治経済学部、国際政治学科卒業
(現代ロシア論、袴田茂樹ゼミ)
- ・産経新聞の記者として7年、主に社会部で事件、行政取材を担当
- ・現在、西麻布で10才の女の子の子育て中。「港区ママの会」主宰
- ・2011年4月、港区議会議員選挙5位初当選
- ・2014年11月、地方政治の活動実績に贈られる「第9回マニフェスト大賞」最優秀賞受賞
- ・2015年4月、同選挙トップ当選。
現在、2期目
- ・港区議会第2会派「みなと政策会議」幹事長、保健福祉常任委員、交通・環境等対策特別委員



会派の「平成30年度予算要望書」を区長に提出。
新年度予算に大きく反映されました。
(2017年10月)

平成30年度予算案 総額1844億円を可決

港区議会第1回定例会(2018年2月14日~3月13日)で、一般会計1389億円、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計の3つの特別会計合わせて総額1844億円の「平成30年度予算案」を可決しました。

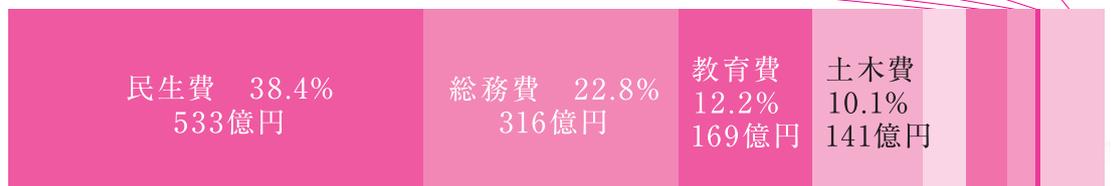


子ども・高齢者、障害者などの福祉のための予算(民生費)が当初予算として初めて500億円を超えました。全体の約4割を占めます。全国的に同様の傾向です。

予算特別委員会で、連日質問に登壇。会派の総括質問も担当しました。

目的別歳出の内訳

環境清掃費 4.1% 57億円	衛生費 3.9% 54億円	産業経済費 2.1% 29億円	議会費 0.6% 8億円	その他 6.0% 83億円
-----------------------	---------------------	-----------------------	--------------------	---------------------



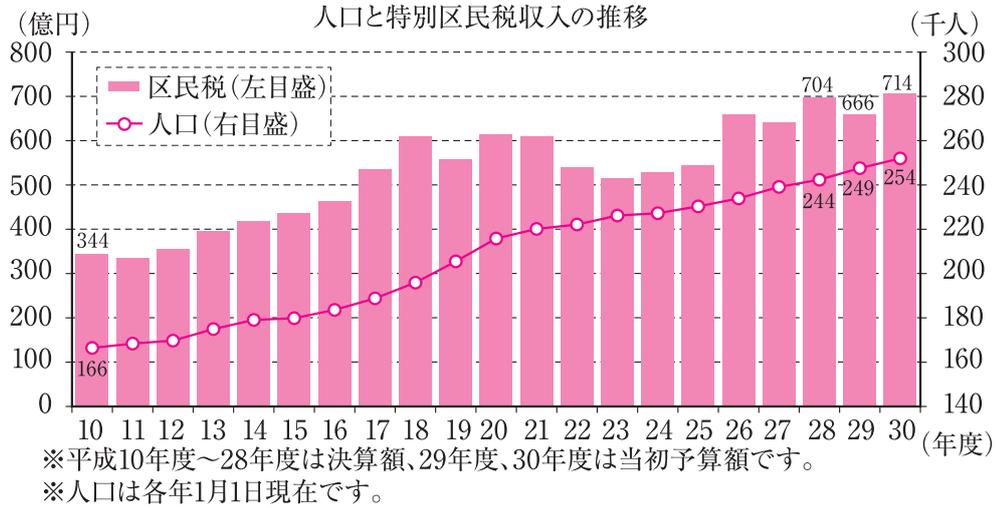
※その他は、公債費(4億円)、諸支出金(74億円)、予備費(5億円)です。



point 1 伸びる人口と税収

港区の人口は、現在25万人を超え、10年後には30万人を超えると推計されています。

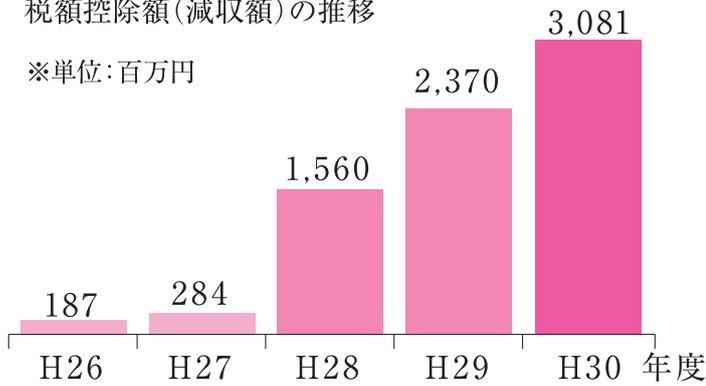
港区の税収の根幹となる特別区民税収入は714億円、前年度比7%増。人口も税収も増加傾向にあります。



point 2 奪われる区民の税金

港区におけるふるさと納税制度による税額控除額(減収額)の推移

※単位:百万円



一方で、国は都市部の税金を地方に回す様々な税制改正を行っています。

平成30年度からは、「地方消費税の清算基準見直し」により、港区は年間22億円の減収(保育園入所児童約920人分の運営費に相当)、さらに「ふるさと納税」によって30年度は約31億円の減収が見込まれています。

東京一極集中で、人口が急増する一方で、税収はどんどん地方にまわされ、今後、良質な区民サービスを維持していけるか懸念されています。

point 3 「港区版ふるさと納税」スタート!

「港区版ふるさと納税」の創設を提言。

30年度から実現!インターネット決済も導入されます。

初年度は1億円が目標。

寄付先に指定されたのは以下の3つの事業。

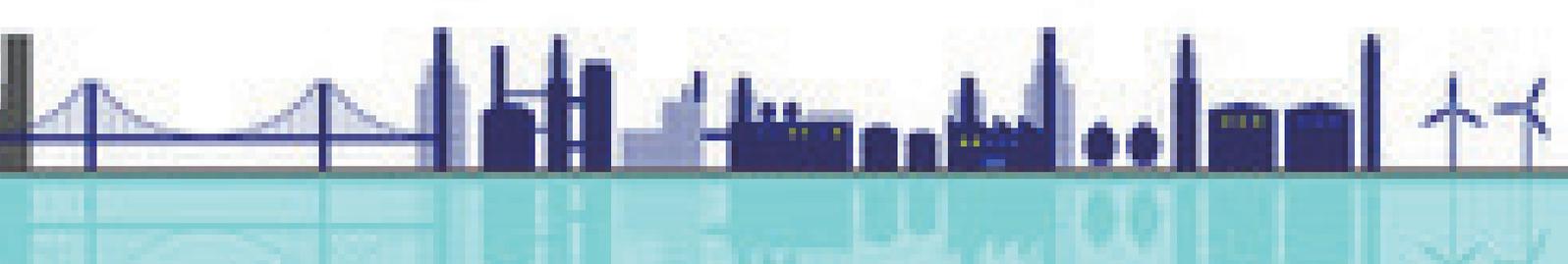
- ① 泳げる海、お台場の実現
- ② 運河にかかる橋のライトアップ
- ③ 港区マラソン

「子どもの未来応援」を寄付先の事業に追加することを求めています!

30年12月2日

「港区マラソン」の開催が決定!

増上寺付近からスタートし、ゴールは東京タワー。芝地区を中心に高輪、麻布、芝浦の一部をコースに想定。
ハーフマラソン(約21キロ、5000人)とファンラン(1.5キロ、500人)の2コースで、6月に募集開始の予定です。みなさん、ぜひご参加ください!私も走る練習中ですー!



予算トピックス

〈防災〉

- ・区内全域の病院や医師会などと連携し、23区初の「災害医療合同訓練」を実施！
(平成29年11月)⇒課題整理と改善を要望
- ・災害時に、誰もが適切な行動がとれるようスマホのGPS機能などを活用した「防災ポータルサイト」の構築を提言



地域防災訓練に参加。多くの人が参加したくなる防災訓練イベントを提唱中！
ペット同伴訓練も！

〈子育て支援〉

平成30年4月

待機児童数97人に半減！

- ・居宅訪問型保育(認可ベビーシッター)の拡充
- ・病児保育室の増設(白金台、赤坂)
- ・保育サポートの増設(白金台、赤坂)
- ・民間の物件と保育事業者のマッチング事業 など
⇒幼稚園の預かり保育&夏季保育の拡充、学童クラブの給食サービス、GPS付き防犯ブザーの配布、などを要望中！



〈教育〉

- ・ICT教育を進めています！
⇒芝小学校(モデル校)で全児童にタブレット端末配備
- ・日本語学級の増設(麻布小学校、六本木中学校)
- ・教員の「働き方改革」を進めています！
- ・⇒学校の校庭開放事業、部活動指導などの外部委託、地域コーディネーターの配置拡大を推進
⇒国際バカロレア教育、発達障害や不登校児の才能を伸ばす「天才教育」など「オルタナティブ教育」の導入を要望中！！

急増する人口と土地不足の問題 本当に大丈夫なの??

港区の就学前人口(0~5歳児)は、この10年で約7000人増え、今後10年で、今の1.2倍に増え、**小学生人口は1.5倍以上になると推計されています。**

中央区は、これ以上の人口流入に小学校整備などが追いつかないとして、今夏にも、マンションなどの住宅建設に対する容積率緩和制度を廃止。江東区もファミリー向けマンション規制を行う予定です。

港区は、今後も「定住促進」を続ける計画を立てていますが、**専門家を交えた会議体を設置し、「人口」と「土地」に関する現状分析と中長期的な対策を打ち出すべきではないか、**と提言しました。

〈行政改革・協働〉

- ・区役所の「働き方改革」を進めています！
⇒超過勤務2割削減で、人件費1億円以上削減
⇒事業の統合削減、ICTやAI活用で、業務の効率化を提言
- ・町会自治会支援を拡充しました！
⇒ゴミの各戸収集、NPOの中間支援機能強化を要望中

〈高齢者支援〉

- ・特別養護老人ホームの増設！
南麻布4丁目で計画中、平成32年3月開設へ
⇒杉並区が南伊豆町に特養老人ホームを開設した手法の研究も提言
- ・「地域包括ケアシステム」を推進中！
⇒在宅医療・療養・介護相談連携窓口を赤坂のほか、芝浦にも増設。全区展開へ
- ・「小規模多機能型居宅介護施設」を増設！
⇒南青山、高輪、三田、麻布、港南で計画中
- ・区立中学などで「認知症サポーター養成講座」実施、毎年2000人養成へ

シニアが生き生き活躍できる社会を！
介護予防体操に参加。「介護予防リーダー」の活動支援を進めています。



そのほか、実現したこと



- ・飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費用の助成拡充が実現！
⇒里親会支援やボランティア育成などトータルサポートを要望中！



東麻布の実家が里親になった地域猫の「クロちゃん」。

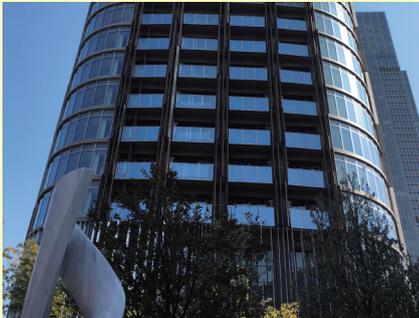
- ・MRワクチン未接種児に対するフォローアップ全額助成が実現！
- ・保育園以外にも、幼稚園、放課GO、学童クラブなど全区有施設で、紙オムツの保護者持ち帰り禁止が実現！
- ・自然エネルギーの普及促進が前進
⇒港区の区有施設に福島県白河市の太陽光エネルギー、山形県庄内町の風力エネルギーを導入へ

港区NEWS

4月に新しい施設が続々オープン!

①赤坂9丁目再開発施設

「パークコート赤坂檜町ザタワー」内



「保育サポート赤坂」(定時保育園)
「あっぴい赤坂」(一時預かり&子育て広場)
「優っくり村乃木坂」(小規模多機能型居宅介護施設)が開設

②「国際医療福祉大学

東京赤坂キャンパス」
(旧赤坂小学校跡地に、港区が教育施設を公募して選出)



「山王赤坂病児保育室」「生涯学習センター」「赤坂氷川山車展示スペース」など併設
2020年完成予定の2期工事では「保育園」も併設予定



③白金台の港区立郷土歴史館等複合施設

「ゆかしの杜」(旧公衆衛生院跡地を改修)がん在宅緩和ケア支援センター「ういケアみなと」、「あっぴい白金台」、「保育サポート白金台」など開設(郷土歴史館は11月にオープン)

港区の「民泊」条例案を可決!

「民泊」を事実上認める”民泊新法”が6月に施行されるため、各自治体がそれぞれ地域の実情にあった条例を制定しています。港区では、現状すでに、1300件以上の「民泊」物件が確認されていますが、ほとんどが届出のない“違法”状態となっています。

港区の条例ではきちんと「民泊」の届出をし、近隣に周知するなどの要件を守ればOK。ただし、住居専用地域と文教地区においては、家主不在型(ホストがいるホームステイ型ではなく、無人の部屋貸し)の場合、「春休み」「夏休み」「年末年始」だけ実施できる、としました。

しっかりしたチェック態勢をとり、違反した場合は、事業者の業務停止や廃止、などの罰則を課していきます。

“LGBT 同性パートナーシップ公的認証”を求める請願を可決!

昨年12月の第4回定例会に、同性カップルを家族同様に扱う「同性パートナーシップの公的認証制度」の創設を求める請願が提出され、賛成多数で可決されました。

私たちの会派「みなと政策会議」では、多様性ある国際都市・港区でこそ、LGBT(性的マイノリティー)の人たちの人権が守られ、生きづらさが解消される制度の確立が必要と考え、この制度を持つ渋谷区や世田谷区の視察に行き、勉強会を重ねてきました。今後、請願の内容が実現するよう、活動していきます!

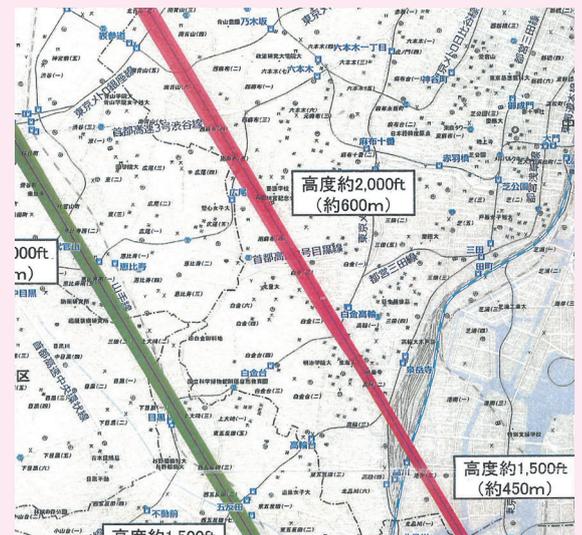
平成29年12月9日付、朝日新聞の記事。私のインタビューも掲載されています。



知っていますか?羽田空港増便で、港区の頭上を低空で通る新航路案

羽田空港の機能強化策として、現在、国が示している計画は、2020年までに、南風時(年間運用の約4割)、15時~19時の間の実質約3時間、2分に1機の割合で、港区上空を約600-450メートルの高さで飛行機を飛ばす、というものです。騒音の程度は70-80デシベルで、トラックやバイクの通過音くらいとされ、落下物(成田空港周辺では過去10年で20件の落下物が確認)の危険などが心配されています。

先日の第1回港区議会定例会には、白金高輪地区の町会長たちや「みなとの空を守る会」から、「計画の撤回を含む再検討を国に求める請願」が出され、継続審議となっています。





清家あいの活動

講演を多数、行っています！



シングルマザー支援団体「ママ・ユナイテッド」の設立記念イベントのトークショーに登壇。(29年4月)



「子どもたちの未来を考える会」、六本木ヒルズにて開催。(29年6月)

地域の活動も全力！



港区の関連団体や町会・商店街などの新年会でご挨拶。(30年1月)



東麻布・熊野神社の節分の豆まき。お祭りでは神輿担いでます！(30年2月)

障害者支援に力を入れています！



障害のあるアーティストとパラリンピアンを応援する「つながりの展覧会」に協力。東京ミッドタウンにて、ハートの画家・西村公一さんと。(30年1月)



「世界自閉症啓発デー」の世界各地を一齐にブルーに染めるイベントに、今年から港区役所も参加！(30年4月)



発達障害や不登校児の尖った才能を伸ばす東大先端研と日本財団の「異才発掘プロジェクト ROCKET」。これを導入した渋谷区の授業の視察に。(29年12月)

待機児童問題などの取材多数！



フランスの国営放送から取材を受けました！

篠原涼子主演のフジテレビ月9ドラマ「民衆の敵」の監修のお手伝いをしました！

女性誌「エル・ジャポン」の特集記事に掲載されました！



清家あい公式 HP www.seikeai.jp

公式ブログAI's eye (ameblo.jp/aizeye) と、Facebookで、港区情報を日々お届けしています！

連絡先 清家あい事務所

〒106-0031 東京都港区西麻布4-11-28-906 TEL・FAX 03-3499-2833

E-mail ai@seikeai.jp

ご意見・ご相談などありましたら、お気軽にメールでご連絡ください！必ずお返事しています。



記者目線 & ママハート